

船舶インシデント調査報告書

令和5年8月2日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和4年12月10日 15時00分ごろ
発生場所	石川県金沢港 金沢港 ^{かないわ} 金石東防波堤灯台から真方位248°170m付近 （概位 北緯36°36.2′ 東経136°35.0′）
インシデントの概要	プレジャーボートさわ丸は、漂流中、船外機が停止し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年1月30日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート さわ丸、5トン未満（長さ5.09m） 244-7475石川、個人所有 ガソリン機関、船外機、2サイクル、出力22.10kW、回転数毎分5,500、3気筒、ボア59.5mm、使用燃料ガソリン、機関製造年月日不詳、昭和55年6月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5メートル
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、船外機を中立運転として漂流しながら釣り中、船外機が停止した。</p> <p>船長は、船外機の始動を試みたが始動しなかったため、防波堤から西方約60m沖で投錨し、友人に救助を依頼して待機していたところ、同防波堤上を巡回していた海上保安官から声を掛けられ、船外機が始動しなくなったことを伝えた。</p> <p>海上保安官は、付近にいた別のプレジャーボートの船長からプレジャーボートを借りて操船し、本船を金沢港の船だまりにえい航した。</p> <p>本船は、本インシデント後、機関整備業者により点検が行われた結果、ゴム製燃料ホースに経年劣化による亀裂が生じており、同ホースに空気が混入し、燃料油が船外機に供給されていなかったことが判明した。</p> <p>本船は、平成18年に中古で購入された後、燃料ホースの点検や交換が行われていなかった。</p>
分析	本船は、平成18年ごろに中古で購入され、その後、燃料ホースの点検や交換が行われていない中、船外機を中立運転として漂流中、経年劣化により同ホースに亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料油

	<p>の供給ができなくなったことから、船外機が停止し、運航不能となったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、平成18年ごろに中古で購入され、その後、燃料ホースの点検や交換が行われていない中、船外機を中立運転として漂泊中、経年劣化により同ホースに亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料油の供給ができなくなったため、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、燃料ホースの点検を定期的に行うとともに、長期間使用されたものは早めに新替えること。・ 船長は、運航不能となった際は速やかに海上保安庁へ通報すること。